

◆就任3か月 2025/3/20

少し暖かさを感じるようになった今日この頃ですが、4エリア会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？

私が中国地方本部長に就任して、3か月がたちました。この間、中国地方本部から各支部へ未払いになっていた事業費の支給など、JR4OZR久木田会計監査を中心に、各支部長の協力をいただきながら、中国地方本部会計について、確認・整理を行いました。

また、島根県支部についても、JA4DND松浦中国地方社員にご尽力をいただき、島根県支部会員の皆様のご協力を得て再構築することができました。この場を借りて、厚くお礼申し上げます。

令和7年度の事業計画と予算も、JARL理事会で承認をいただいております、来年度からスムーズなスタートが切れる状況となっております。

また、中国地方本部の組織についても、それぞれの役員職に就いていただくことができました。さらに、下部組織として委員会を設置することとし、各支部から監査指導委員長、コンテスト委員、ARDF委員を選出していただき、相談しながら事業を進めてまいります。

さらに、ホームページもリニューアルしました。今後はHPを通じて情報を発信することで、4エリアの皆様にご近所感を感じていただくことで、皆様の力を結集して、アマチュア無線の楽しさを倍増していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

私は、次の5つのことを柱に、中国地方本部を運営してまいります。

1. 明朗な会計処理

JARL会費を原資とする中国地方本部費を正しく運用します。

中国地方本部会議での合意に基づいて支出し、そのいとまがなかった場合は、後日きちんと報告します。

【参考】令和7年度 中国地方本部予算額 167万円

2. 楽しめる事業の実施

県を跨った事業の実施など、中国地方の会員が力を合わせることで、楽しさをより増大できる事業に取り組みます。

3. 社会貢献への取り組み

災害時の非常通信など、社会に貢献できる活動を行います。また、地方自治体が実施する防災訓練に参加し、日頃からコミュニケーションをとることで、災害時の円滑な連携を図ります。

4. 次世代を含め、広く一般の人々にアマチュア無線を紹介

小中学生を対象にした電子工作や交信体験を実施するとともに、「ハムの集い」などのイベントに、広く一般の人々にも参加していただけるよう取り組みを工夫し、アマチュア無線愛好者の増加を図り、JARL の継続的発展 (SDGs) につなげます。

5. 知識・技術の向上

新しいアマチュア無線技術の習得と、楽しい運用方法の普及のため、講演会や技術講習会に取り組みます。

本年は、日本での放送開始 100 年、来年は JARL 創立 100 周年、再来年は日本のアマチュア無線正式免許 100 周年と節目の年が続きます。中国地方本部としても、参画できる記念事業があれば取り組みたいと思います。

私個人にとっては、今年が開局 50 周年を迎える年でもあります。このような年に、中国地方本部長という重責を務めさせていただくことになりました。

アマチュア無線は、キング・オブ・ホビーと呼ばれます。その意味を私なりに考えてみました。電波は誰にでも公平に降り注ぎます。私たちは自宅に居ながらにして、マイクに向かうことで、年齢や性別、人種、社会的地位に関係なく、対等に語り合うことができます。これが「王様 (女王様)」と呼ばれる所以ではないかと思えます。

最後に、どうか皆様、私たちが愛するアマチュア無線の発展のために、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

◆中国地方本部長就任のご挨拶 2024/12/8

中国地方 JARL 会員の皆様へ

初冬の候、中国地方 JARL 会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、JARL Web の「第 76 回理事会報告」でご存じのこととは思いますが、理事会において松田中国地方本部長に対し「4月になされた中国地方の会

員あての文書の送付費用（約 38 万円）を中国地方本部費に返還すること」と、「中国地方本部長を辞任すること」が、「出席理事全員異議なく承認」され、松田氏は、令和 6 年 12 月 1 日付けで、中国地方本部長の辞任届を提出しました。

これを受け、中国地方の各支部長から、私を中国地方本部長とする推薦書が提出されたのに対し、森田会長名により「連盟の組織等の安定を図る上から」「規則第 37 条第 1 項ただし書き地方本部長として」の委嘱書が、令和 6 年 12 月 6 日付けで交付されました。（なお、松田氏は、理事として留まりません。）

私は、岡山県支部長当時、中国地方本部会議等で他の支部長と共に、松田氏に対し、中国地方本部長としての職責をきちんと果たされるよう意見してまいりましたが聞き入れられず、このような形で交代することとなったことを残念に思うと同時に、4 エリア外に対し、大変恥ずかしいことであると思います。

私は、アマチュア無線は趣味であり、JARL を個人的な対立の場にはしたくありません。今後は、中国地方の各支部長、社員の皆様をはじめ、JARL 会員の皆様方のご協力を頂きながら、力を合わせることで実現できるアマチュア無線の楽しみ方など、ボランティア精神の素晴らしさを生かしつつ組織運営に努めてまいりますので、どうぞご協力のほど、よろしくお願い致します。

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
中国地方本部長 JH4LPY 梶田英司